

岩手の郷土料理 わんこソバまつり 写真スナップ

13° Festival de Wanko soba Iwate 2019

5月19日(日)11時から岩手県人会恒例の、第13回「わんこソバまつり」が開かれ、定刻には会場は一杯となり「ソバファン」で大盛況で、すでにザルそば希望者は「ソバ・汁」とも美味しいとお代わりの催促があった。

「わんこソバとは、お椀に入ったそば(一杯が10gが基準とか)を何杯食べられるか!? そんな遊び心あふれる「わんこソバ」は指定時間内(無制限、15分、10分)で「注ぎ手のどんどん♪じゃんじゃん〜♪と掛け声に合わせて何杯食べられるかを競います。

母県岩手では「花巻市」で行われる全国大会は、団体3人、個人とあり、個人最高記録は5分間でなんと258杯! 神奈川県の井本さんが2016年に達成した快挙です。「盛岡市」でも全日本わんこそば選手権大会が行われている。2016年には10分間で菅原さん(盛岡)が402杯を平らげたそうです。

さて、県人会の「わんこソバまつり」は「岩手の郷土料理」を広めたく思い付きました。「わんこソバ」は何ととっても制限時間内に何杯食べられるかを「**競うこと**」に会場の皆さんが興味があるので、ガンバレ、ガンバレと大声援が飛び交う事です。

初めは「汁」で苦労したが、回を重ねるごとに「コク」も良くなり美味しい出汁の「そば汁」となり、皆さんから「コク」があり汁が美味しいと評判になった。

県人会では「ソバをゆっくり味わう」ザルそばに付け出し(食べ放題)や餃子が付く。「競技の部」が何ととっても皆さんの的です。

早く入場された方は「ザルソバ」を味わったり、また競技に参加したいと言う組。競技は子供の部で「椀ソバ」を少なくとも200杯以上、また大人の部は350杯以上用意しますが、相次いで競技に入れないのが実情で待って頂いたお客様には申し訳なく思っております。「**競技の部**」は、小さいお子さん(男子)の部でそうた君が42杯、次も子供(男子)たち、女性児童の部(2分の要望)、女性の部2回。男子の部3回、ソバの準備が間に合わず女性の部番外となったが(数秒前に肝心のお椀が足りなかった)計9回の競技が行われた。

最多は男子ひろゆきさんで86杯で最多杯が贈られた。女性の部番外では最近のチャンピオン三宅さん(2016年には111杯を平らげた)が94杯とさすがでした。

遠くレジストロ文協のJICAボランティアで「地域おこし」で活躍している山口碧さん(盛岡市)も、友達とブラジルの「わんこソバ」競技に参加奮闘しました。

最後に、ご参加頂いた「そばファン」の皆さん、及び前日から祭りの準備に携わった、若い皆さんに心からお疲れさまでしたと申し上げます。

準備・まかない お疲れさま !!





会場 風景

ちびっ子も
頑張って挑戦

ちびっ子の最多杯

第 13 回
わんこソバまつり
スナップ写真





若者に挑戦する年配者
小池さんは 62 杯 右端は人



ザルそば





ご満悦の男性

と



86杯のチャンピオン

こちらも声援を 誰に？



JICA ボランティア

盛岡の山口さんも挑戦 (赤い服の人)

